

PTA会長ご挨拶

2020年度同朋高等学校PTA会長を務めさせていただきます横井建二と申します。

仕事も多忙であるため、最初の1年間だけと思っていましたが、本校の良さを知り現在PTA3年目を迎えております。来年卒業をする3年生の子供たち同様に、私も本校への感謝でいっぱいです。本校でお目にかかる保護者の皆様やPTA活動をされておられる皆様はとても優しく家族のようにお互いを迎えられ、また滝校長先生をはじめとする情熱あふれる先生方とお会いすると学生時代の自分に戻ったような広がりや若々しい時間を共有できます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子供たちは以前とは違いさまざまな行事が当たり前に行えない悔しさを胸に残しています。それでも、私はこの子供たちが将来必ず幸せで大きく成長すると確信しています。それは歴史が証明しています。有名な信長や三国志の曹操というと、全戦全勝という印象がありますが、若い頃は負け戦ばかりだそうです。全戦全敗、負けてばかりと言ってもいいくらいです。若い頃の負け戦があったからこそ悔しい思いを力として蓄え、負けても負けても諦めずに立ち向かって行ったからこそ天下を取れたのです。逆の視点で見れば、いつも幸せな状況の中にと、生物は退化して行きます。すなわち、いつも幸せな環境の中で育っていると、自然環境が急激に変化した時、あっという間に絶滅してしまうのです。同朋高校の生徒は常にライバルを明確にして大きな夢を持ち社会

PTA会長 横井 建二

へ羽ばたいてほしいと考えています。とある夏、甲子園で優勝した彼らの部室に書かれていた言葉は、『最大のピンチの裏側には最大のチャンスがある』です。

保護者の皆様、先生方、地域の皆様へPTA活動への御理解と御協力を今後とも宜しく御願い申し上げます。

2020年8月31日

今年度PTA役員の紹介

会 長	横井 建二	会 計 監 査	花井 寛
副 会 長	長橋 如美		横井 祐之
	宮崎 きよ子	事 業 委 員 長	松屋 理恵子
	二村 浩介	文 化 委 員 長	眞弓 美貴
	奥村 幸栄	生活指導委員長	藤崎 未幸
会 計	里崎 倫代	地域懇談委員長	日比野 由美



「同朋オープンフォーラム2020」にぜひご参加ください

テーマ 同朋で育む力とは

日にち 2020年11月7日(土) 時間 14:00~16:00(受付13:30~)

場 所 同朋高等学校

Schedule [行事予定]

11月	6日 金	漢字検定
	7日 土	同朋オープンフォーラム
	8日 日	珠算・電卓実務検定
	11日 水	生徒会立会演説会
	13日 金	数学検定
	14日 土	学校説明会、音楽科体験入学
	15日 日	秘書実務検定
	22日 日	ビジネス文書実務検定
	26日 木	見真の日
	27日 金	報恩講

12

12月	4日 金	家庭学習
	5日 土	PTA常任委員会
	13日 日	修学旅行1団出発 [~16日(水)]
		修学旅行2団出発 [~17日(木)]
	14日 月	午前授業 [~18日(金)]
		3年三者懇 [~18日(金)]
	15日 火	修学旅行3団出発 [~18日(金)]
		DV講演(1年)
	16日 水	学年自主活動日(1年)
	17日 木	1団代休、1年弁論大会

1月	8日 金	始業式、1・2年生実力テスト
		音楽科第52回卒業演奏会(兼第21回合唱・オーケストラ演奏会)

1月	16日 土	大学入学共通テスト [~17日(日)]
	22日 金	見真の日、英語検定
	23日 土	1・2年ベネッセ総合学力テスト
	24日 日	全統2年記述模試、簿記実務検定
	25日 月	卒業試験 [~29日(金)]
	27日 水	推薦入試
	30日 土	PTA常任委員会
		1・2年保護者進路ガイダンス、学級懇
	31日 日	全統2年共通テスト模試、情報処理検定
2月	3日 水	一般入試
	7日 日	商業経済検定
	12日 金	漢字検定、数学検定
	18日 木	見真の日
	19日 金	卒業式リハーサル
	20日 土	卒業式

20日 土	卒業式
-------	-----

同朋和敬

11

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.219 5 NOV 2020

同朋高等学校 学校通信編集委員会 犀川・鰐部・杉浦

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

同朋和敬

入学式・文化祭・
体育大会特集

Doho High School Community Press



新 新型コロナウイルス感染症のために1学期にできなかった体育大会を文化祭との同時開催で、文化祭は一般公開をなしにして開催した。文化祭当日の朝7時過ぎ、いつもであれば部活動の朝練習にくる子がパラパラといくくらいなのだが、続々と生徒が登校してくる。皆、文化祭独特の高揚感を顔に浮かべながら。体育大会当日、良すぎるくらいの青空の下、一生懸命走る姿に声援が飛ぶ。「やるか・やらないか」ではなく「どうやったら開催できるか」を議論してきた。同朋高校伝統の文化・行事であり、生徒一人ひとりが大きく成長できる学びの場でもあるからだ。皆の秋が、実り多きものであることを祈っている。

同朋高等学校長 滝 敏行

1

11
Vol.219
学校通信

2020年度 入学式



校長式辞

同朋高等学校長 滝 敏行

先ほど入学認定しました545名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。まさに桜が咲き誇る中、皆さんをこの同朋高校に迎え入れることができるのは、とても大きな喜びです。最近だとコロナのことなど、いろんなことに困ったり悩んだりしながら過ごしていますが、きれいに咲いている桜をその下から見上げると、そんなことは関係なく自然の営みは続いていることに気がきます。そして自分自身もその自然の一部であることに気がきます。そう考えて悠然と謙虚に生きていけるといいなあと思います。それがなかなか難しいのですけれどね。

本日皆さんが通った正門を入ったすぐの所に、親鸞聖人の銅像があります。本校は、親鸞聖人の教えを建学の精神に持つ、真宗大谷派の関係学校です。「同朋」とはわかりやすく言えば、同じ志を持つ「仲間」という意味です。一人ひとりの違いを認め合い、一人ひとりの個性を大切に伸ばすという精神をあらゆる教育活動の中に貫いている学校です。

世の中にはさまざまな学びがあります。ICTなど技術が発展し、学校に通わなくても多くのことが学べる世の中になってきています。では学校に通うことの意味はなんでしょう。それは皆さんの周りにいる仲間です。学び合い、競い合い、支え合っていく仲間です。これだけ多くの人間が集まれば、育った環境や考え方、価値観もさまざまです。その中で自分を大切にすること、そして自分を大切にすることこそ相手のことも大切にすることを学んでほしいです。

よく「コミュニケーション能力が大切だ」ということが言われ

ますが、コミュニケーション能力とはどんな力でしょう。仲間と楽しく話す力でしょうか。よく討論番組で見かけるのですが、相手をねじ伏せ、言い負かす力でしょうか。そうではなく自分とは全く違う価値観の人とも理解し合おうとする力、考え方が違う人とも一致できることを見つけて行ける力です。同朋高校の3年間では、ぜひこの力をつけてほしいと思います。

同朋高校では学校行事や普段の授業の中でも、そういったさまざまな価値観と出会うことを大切に考えています。時には人とぶつかることもあるでしょう。辛い思いをすることがあるかもしれません。

昨年度、皆さんの先輩にあたる卒業生に、彼の体験を話してもらった機会がありました。彼はその中で「過去は変えられる」と言いました。聞いていた皆は「過去は変えられない、未来は変えられる」と言おうとして間違えたのかと思いましたが、違いました。「失敗」や「挫折」もその経験を生かせば、ただの「失敗」「挫折」ではなく「成功」や「変化」の糧・こやしになるというのが、彼が言おうとしていたことでした。

皆さんは、不安とともにさまざまな思いや夢を持ってこの場に

いることと思います。ぜひさまざまなことに取り組んでください。同朋高校で始まる豊かな学びと豊かな人間関係の中で、皆さんが大きく成長し、光り輝くことを願ってやみません。我々教職員一同、皆さんを全力でサポートし、共に成長していきたいと考えています。「初心」を忘れず、有意義な高校生活を送られることを心から期待して入学式の式辞といたします。

2020年4月7日



来賓祝辞

PTA会長 野口 裕司

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日から皆さんは高校生となり、3年間こ同朋高校で、学業をはじめ先生や友人との関わり、学校内外での行事やクラブ活動などの取り組みでたくさんを経験するでしょう。

楽しいこともいっぱいあると思いますが、時にはうまくいかないこと、辛い経験をすることもあると思います。でも、そんな時こそ成長するチャンスだと思ってください。一生懸命に悩み考えそれを乗り越え、大きく成長できると思います。

同朋高校の先生方も皆さんのことを一生懸命考え支え応援してくださると思います。

これからの時代は何が起こるかわかりません。無難に過ごすのではなく、チャレンジしてこそ真の学びがあると思います。

3年間はあっという間です。

3年後ここにいる全員で卒業式の日を迎えてください。

私たちPTA保護者と教師の会は、皆さんの高校生活が充実したものになりますよう全力でサポートさせていただきます。

最後になりますが、現在新型コロナウイルスが世界的に拡大し、私たちの生活や社会活動に大きな影響を及ぼしています。皆さんも十分に注意をし感染防止に努めてください。

以上祝辞とさせていただきます。

新入生 誓いの言葉

109 横山 芽玖（東浦町立北部中学校出身）

暖かな春を感じられる今日、私たち新入生545名は、同朋高等学校に入学することができました。本日は、私たちのために、このような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。初めての登校に緊張しながらぐった門でしたが、先生方の明るい笑顔に緊張よりも期待が大きくなりました。私たちは、9年間の義務教育を終え、今日からは、自分たちで選んだ道を歩んでいきます。高校生活を通じて、何事にも積極的に打ち込み、自分の言動に責任を持てる人間になりたいです。また、3年間で、共に学び、助け合うことのできる仲間を多く作りたいです。そして、どんな困難にも立ち向かっていける強い心を養っていきたいと思っています。これからお世話になる先生方、先輩方、私たち新入生を温かい目で見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。最後に、私たち新入生一同は歴史と伝統のある同朋高等学校の生徒として、誇りを持ち、その名に恥じぬように精一杯、悔いの残らない高校生活を送ることをここに誓います。

●●● 新任教員紹介 ●●●



国語科
中村 亮太先生

奈良県より参りました、中村亮太と申します。国語の教員として、「ことば」の大切さや奥深さ、さまざまな文章の面白さを感じてもらえるような授業にしたいと思います。また、掃除や学級活動、行事などを通して、皆さんと関わっていきたいです。何卒よろしくお願いいたします。



英語科
鰐部 将太先生

今年度から英語科教員として勤めさせていただきます鰐部将太です。英語の教員として、日本語とは異なる言語を通して、ことば「language」の本質を生徒の皆さんが楽しめる授業にしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



社会科
丹羽 雄飛先生

生徒と共に、社会科の面白さ・大切さを感じられる授業を目指して頑張ります。日々の生活や行事を通して、共に同朋高校の文化を感じ、またつくっていきたいです。



社会科
芳賀 健太郎先生

今年度から社会科教員として勤務することになりました。教員1年目で103の担任を務めさせていただいております。担任の業務は大変ですが、あらゆる生徒の成長を肌で感じる事ができ、教員になってよかったと感じる毎日を過ごしています。



今年度の文化祭は、新型コロナウイルスの影響により開催が危ぶまれた状態から始まり、例年であれば夏休み中は各クラス企画の準備や部活動発表の準備で校内が賑わいますが、7月下旬ごろからの感染拡大により、なかなか準備が進められず、生徒・教員ともに今までに経験したことがない文化祭になりました。

そのような逆風を乗り越えて、1年生の「創造～つくる～」部門では、大きな製作物に果敢に挑戦したり、廊下や教室内の装飾・レイアウトに工夫を凝らしたり、さまざまな角度から「創造」にアプローチしました。2年生の「同朋ミュージアム」部門では、学年独自テーマの「物語」に沿って、物語自体を研究したり、研究対象のものの歴史や成り立ちを「物語」と捉えたりクラスごとの特徴が出ていました。また、昨年の経験を活かし、装飾や展示を工夫し、教室を異空間へと作り上げていました。3年生の「演劇・パフォーマンス」部門では、コロナ禍の困難をものともせず、熱のこもった演技やパフォーマンスが体育館・野外ステージで披露されました。苦しい状況だからこそ伝えたい想いや、準備を通して深まったクラスの絆で集大成として素晴らしい作品が数多く上演されました。

例年と同じようには実施できませんでしたが、マスク越しに見える笑顔から、「同朋高校が大切にしてきたもの」のバトンが生徒の皆さんによって繋がれたと感じています。この貴重な経験が今後に繋がってくれることを願います。

文化祭実行委員会 大泊 和将



文化祭実行委員長より

皆さん文化祭・体育大会は楽しめましたか？

今回の文化祭・体育大会は新型コロナウイルスと闘いながらの準備・実施でした。他の高校では文化祭・体育大会が中止になってしまっている中で、同朋高校はほとんど例年通りのかたちで実施することができました。しかし、準備期間が短くなってしまい、大変なこともたくさんあったと思います。そんな中で、クラスの仲間と知恵を絞り、良いところ頑張っている姿をたくさん見ることができたのではないのでしょうか。これらのことは今後の私たちに繋がり、きっと良いことをもたらしてくれると思います。「この逆風に立ち向かった私たちって凄い!!!」という自信を持って、これからの学校生活に活かしていきましょう。

209 上田 美希菜（津島市立神守中学校出身）

受賞クラス一覧

アカデミー賞

3年 演劇部門 311

どうぶつ会議

3年 パフォーマンス部門 310

今日から私は!!

2年 同朋ミュージアム部門 211

#あいと勇気のパンまつり

1年 創造 ～つくる～ 部門 109

謎解きワンダーランド

3年アカデミー賞 パフォーマンス部門

310は団体戦

310 長橋 梨花（津島市立神守中学校出身）

「本番中、照明や音響が止まってもアカデミー賞をとるとこはとるからね」。業者の方に言われた言葉です。だからこそミスしても、トラブルがあってもそれを含めてのパフォーマンスだと思います。私たちのクラスは女子が学ランやセーラー服を着てのダンス、男子はスカートをはいて和太鼓を披露しました。それに加えてパフォーマンス中に映像を使い、見ている人を飽きさせない工夫を大切にしました。私は監督として、今年の文化祭テーマと310の「和気あいあい」とした様子を結びつけ、それを見に来てくれた人たちに伝えたいと考えました。そのために今の世の中でできることは限られますが、どうしてもクラス全員で共通の思い出を作りたいと思い花火をしました。みんなが楽しそうに花火をしている表情を何人ものカメラで撮影し、編集をして、男子の太鼓の演奏に合わせてその映像を映しました。最後の曲「青と夏」では和太鼓の音と花火の映像に加えて、観客にサイリウムを振ってもらうことで体育館内の一体感を演出しました。会場の一体感とともに太鼓の演奏も今まで練習してきた中で最高の演奏となり、パフォーマンス後には涙を浮かべているクラスメイトもいました。本番までたくさん辛い思いをしたり苦勞もしてきました。それでも意見をぶつけ合い、それをお互い言い合うことで310らしい良い作品ができたと思います。クラス37人だけでなく、担任の松尾先生も含めた38人でパフォーマンスをしてアカデミー賞を受賞させていただきました。このアカデミー賞はたくさんの先生方や演劇部の皆さん、業者の方々、そして同じパフォーマンス部門で戦った3クラスのおかげです。以前松尾先生が、「受験は団体戦」と言っていました。文化祭で深まった310の団結力をそれぞれの進路に役立てていきます。今年の文化祭はクラス全員で最高の思い出をつくることができました。

3年アカデミー賞 演劇部門

私たちにしかできない事

「みんなが輝ける場所を、クラス全員で作りたい。」

文化祭に311で参加できると決まった時、私が1番強く思った事です。私たち音楽科は演奏会が文化祭直後にあり毎年クラス全員で参加する事ができませんでした。今回がクラス全員で参加できる最初で最後の文化祭だったのです。

劇を作る上で私たちにしかできない事はなんだろうと思えつった結果が、アカデミー賞にはこだわらずみんなが協力し得意な事をそれぞれ活かして1からみんなで舞台を作り上げる。"311オリジナル"を作る事でした。私が脚本を考え、作曲のできる子に楽曲を作ってもらい、ダンスの得意な子にステージングを考えて貰う。普段は楽器を演奏している子たちも、やった事の無い音響や照明、大道具や衣装作りを忙しい中頑張ってくれました。最初はあまりやる気の無かった子もみんなが頑張っている姿を見て「自分も頑張らなくちゃ!」と積極的に参加をしてくれました。ですが、高校生が1から作り上げるのは考えていた以上に大変でギリギリまで曲がでなかつたり、演出がまとまらずみんな焦ってしまい本当にこのまま

2年アカデミー賞 同朋ミュージアム部門

内と外の枠を超えた文化祭

211 加藤 さつき（名古屋市長はとり中学校出身）

今年のクラスのテーマは「アンパンマンミュージアム」だった。テーマに「パン」が関係していることから、学校の近くの「つむじ風」というパン屋さんとコラボし、211の特製パンを作ることになった。6種類のレシピを私たちで考え、提案した。このうち4種類が採用となり、試作を繰り返して、ついに販売となったのだ。宣伝用のチラシやポップはすべて自分たちで作製した。今回のコラボでつむじ風さんはコラボ前と比べてお店の売り上げが約170%になり、お客さんの数も増えたそうだ。つむじ風さんが大盛況となったことも、もちろん嬉しいが、高校の文化祭によって地域が賑やかになったことが1番嬉しいことだなと思った。クラスメイトの活動にも触れると、今回の文化祭はさまざまな種類の制作物を完成させることができた。アンパンマンに出てくる「パン工場」をダンボール等を使って組み立てたり、稲葉地こども園の園児たちにぬり絵をしてもらったりと、色々な視点から文化祭の企画を作り上げていった。私たちがアカデミー賞をとれたのは、クラス全員の協力があったからだと思う。皆が皆それぞれの班で頑張りがちで、他の班にも気をかけて「何かできることはない?」と声をかけてくれたり、物を一緒に運んでくれたりして本当に助かったし、このクラスで良かったなと思った。来年も高校生活最後の文化祭でこの喜びをまた味わいたい。



311 山西 菜音（岡崎市立美川中学校出身）

本番が迎えられるのか不安で仕方ありませんでした。ですがそんな時でもみんなで声を掛け合い、助け合い、無事本番を迎える事ができました。先生や後輩から「素晴らしかった!」「感動しました!」と聞きみんなのおかげで音楽科の本気を見せる事ができたなと確信しました。

本番後、照明をしていた子が涙を流して間違えてしまった事を謝りに来ました。普段はあまり積極的に行事には参加しない子ですが、ほんの少しの間違いで泣いている彼女をみて「みんなこんなにも本気で取り組んでくれたんだな」と感動しました。

体育大会閉会式での結果発表で「311どうぶつ会議」と聞いた瞬間クラス全員が立ち上がり喜びました。「クラス全員がひとつになれた」そう思えた瞬間でした。アカデミー賞もみんなの努力についできた結果です。みんなに「ありがとう」と改めて伝えたいです。

楽しい事、大変な事、色々な事があった311。3年間一緒にいた分沢山の思い出があります。そんなみんなと学校生活を送れるのもあと少し、私たちが残りの半年も全力で楽しめます!!

1年アカデミー賞 創造 ～つくる～ 部門

一致団結した最終日

109 中島 亜美（江南市立布袋中学校出身）

高校初めての文化祭。私たちのクラスは、最初から順調に進んでいたわけではなかった。最初は具体的に何を作るのか決まっていなかったもので、7時間目も何をしたらいいかわからない人が多く、授業後残るのも同じ人ばかりだった。準備が進まず、文化祭当日までに完成するのかなり不安だった。

しかし、文化祭準備が進むにつれて、クラスの雰囲気は変わっていった。教室内の迷路が決まり、何をやればいいのか見えてくると、授業後残って手伝ってくれる人が増え始めた。部活があっても始まる前や終わった後にきてくれる人も多くなり、クラスの雰囲気はだんだん良くなっていった。教室の後ろの黒板には、作る土台の数や段ボールに書く絵のリストが書かれていて、少しずつ減っているのを見ると、順調に進んでいるように感じた。

文化祭準備最終日。今まで良くなってきた雰囲気は、とても良いものになった。積極的に迷路を組み立ててくれたり、やることがないかお互いに確認したり、細かい所までこだわったり、これまでにないくらいクラス全体がまとまり、一致団結して迷路を完成させようと頑張っていた。まだ完成には、ほど遠かったはずなのに、準備日の最後に迷路の壁がすべて立ち、完成したときはとても感動した。振り返ってみると、色々な人が自分の得意を生かして頑張っていたと思う。必要な土台をもくもくと作っていた人、お花紙使って花を作ってくれた人、外観に最後までこだわった人、絵を描いてくれた人、いろんな人の頑張りがあって初めてできたことに感謝したいと思った。苦勞した迷路だからこそ、同朋アカデミー賞をとれた事が嬉しく、初めての文化祭ですごく良い思い出になった。



体育大会

こんなひといませんか？

体育が苦手なひと、ひととかかわるのが苦手なひと、カッコ悪いところをみられるのが嫌なひと
 自分自身の進路やうまくいかないことに悩んでいたひと
 クラスや群団をうまくリードできなくて責任を感じているひと
 部活動とクラスの責任の両立が難しかったひと
 重いものを何回もたくさん運んでくれたひと
 細かいところを丁寧に丁寧に仕上げてくれたひと
 自分のできることが少なくて嫌だったひと
 悩んでるひとの話をきいてくれたひと
 うまくいかない人と人との間をとりもってくれたひと
 思うような結果でなくて責任を感じてるひと
 自分ができていることを責任を持ってやってくれたひと
 準備をいっしょにしたいけど当日休んだひと

そんなあなたが自分のことを心に抱えたまま

それでも前向きに、あのときあそこに来てくれたから
 最高の文化祭・体育大会ができました。
 例年5月末開催の体育大会、新型コロナウイルス感染症の影響により見送ることになりました。
 高校総体も高校野球も中止となり、学校としても、延期するべきか、中止するべきか難しい状況でした。
 開催してよかった。心からそう思います。
 あなたがあのとときあそこに来てくれたから
 文化祭も体育大会も笑顔がたくさん溢れていました。
 本当にありがとうございました。

体育大会総務 森岡 優介

群団応援合戦

優 勝	水色	311・208・105
2 位	桜	303・211・111
3 位	赤	302・201・113

群団対抗競技

優 勝	赤	302・201・113
2 位	黒	305・210・102
2 位	青	310・204・110

クラス対抗競技

優 勝	305・204
—	
3 位	201



体育大会

302 津田 竜河 (小牧市立北里中学校出身)

体育大会当日の応援の3分が一瞬に感じた。もっと応援したいと思った。これは、これまでの自分たちの頑張りの証だ。

今年はコロナ禍で各学年10人ずつの30人で披露した。また文化祭もあり、あまり時間を割けなかった。夏休み前からメンバーを絞り曲や振り付けを考えた。夏休みは新型コロナウイルスの影響で教室が使えず、近くの公園で集まり汗だくになりながら練習した。夏休みのうちに全部完成した。だけど、団員から「このままでほんとに最優秀をとれるのかな」と不安の声が出た。そこで、2学期の始めに3年生の団員で話し合った。そして、出来上がったうちの半分以上を変更した。考えに考えた結果、満足のいくものができた。これなら最優秀がとれるとみんなが思えた。他学年との練習が始まり不安もたくさんあった。でも、1・2年生のやる気や元気が不安や焦りなどをすべて吹き飛ばしてくれた。また、練習の雰囲気もととても良かった。文化祭よりも応援を優先して来てくれた1・2年生には本当に感謝してもしきれない。本当にありがとう。

本番是最優秀賞を狙うことは当然、一番は楽しむことを意識した。最優秀賞は取れなかったけど、取れなかった悔しさよりも楽しくやり切った満足感が勝ち、最高の思い出になった。

204しか勝たん！

204 開田 小雪 (名古屋市長騎方中学校出身)

私にとって2回目の体育大会。新型コロナウイルスの影響で昨年とは違って文化祭と体育大会が連続で行われました。群団のダンス、文化祭準備どちらもうまく両立してやらなければいけない状況でとても大変でした。

高校では小学校や中学校と違って、体育の授業で自分が出る競技種目を練習する時間がないので、2回目の体育大会と言えども正直不安がありました。それでも頑張ろうと思えたのは、周りのみんなの一生懸命な姿があったからでした。当日、私たち青群団は学年関係なくお互い応援しあって、仲間が勝ったら自分の事のように嬉しいし、負けたら自分の事のように悔しい気持ちになって、クラスや群団の心がひとつになっているように感じました。

体育大会で一番盛り上がったのは、やはりクラス対抗リレーでした。私のクラスは、出場する予定だった子が怪我で選手交代したり、怪我しながらも出場してくれた子がいたり、と色々ありました。それでもみんなとっても頑張ってくれて、私も声が枯れるほど応援しました。女子も男子も一生懸命頑張っている姿はかっこよくて最高でした。

全ての種目が終わり結果発表。私たち204は競技部門で優勝することができました。最初はまさか自分のクラスが呼ばれると思ってなかったのでとてもびっくりしました。でもそれ以上にとっても嬉しかったです。全体では青群団で2位という結果を残すことができました。自分や仲間の頑張りがこのような結果となってかえてくるのがこんなに嬉しいのだと知ることができました。

来年は3年生。高校生活最後の体育大会になります。自分たちが後輩たちを引っ張っていく番です。今年よりもっと楽しい体育大会になるように頑張りたいです。

黒群団

102 近藤 玲音 (名古屋市長大中学校出身)

体育大会で一番の楽しみだった応援合戦は、感染症対策で30人という少ない人数での実施になってしまいました。しかし3年生の先輩方はとても丁寧に教えてくださり、踊ることのできなかった人たちの分まで頑張ろうと思いました。当日はとても楽しく踊れ、あっという間でした。優勝することはできなかったけれど、私の中では一番です。

なにより体育大会ですごいなと思ったのは、競技に出ている人への応援でした。黒群団のTシャツを着た人がいると、先輩方から「あの子の名前は」と聞かれ、知っている知っていないに関係なく「がんばれ」の声が飛び交っていました。私たち1年生も応援しないと思い、大きな声で名前を呼んだり「がんばれ」と同じ1年生はもちろん2・3年の先輩にも言うことができました。「競技部門準優勝」と聞いて、やっぱり学年に関係なく一致団結してみんなで応援してたからかなと思いました。

文化祭も近くで大変な中、準備をしてくださった方、先生方、先輩方に感謝を忘れないようにし、かっこよかった先輩方を見習い、これからの学校生活を送ってみたいです。

活躍している部活動

野球部

恩返し

310 藤野 拓斗（清須市立春日中学校出身）

硬式野球部では甲子園に出場することを目指し、日々活動しています。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により春の大会、夏の大会が中止となり活動自体できない期間が長くありました。目標を失ってしまい、何をしたら良いか分からない日々が続きましたが、最後の大会が開催される可能性を信じて皆でもう一度頑張ろうと団結しました。そして、多くの方々のおかげで夏の独自大会が開催されることになりました。短い準備期間とはいえ他の高校も同じ条件であり、体調面や技術面でどれだけ準備ができているかが試される大会だったと思います。

私は背番号『1』をもらい初戦の愛工大名電戦に臨みました。先発ピッチャーとして登板しましたが、緊張もなく自然体で1球1球楽しむことができました。敗れてしまいましたが、たくさんの人の力によって試合ができたことに

感謝の気持ちで一杯です。高校野球を通じてチームメイトと同じ目標に向かって協力する素晴らしさを学びました。見えない所で支えていただいた方々にも恩返ししたいと思います。

新チームは県大会出場まであと一步のところまで迫りました。硬式野球部一同全力で目標達成に向かって精進しますので、今後も応援よろしく願いいたします。



演劇部

僕の青春

303 飯田 唯人（星様名古屋中学校出身）

今年は新型コロナウイルスの影響で地区大会がなくなってしまい、心にぽっかり穴が開いたような気持ちになりましたが、なんとかこの夏に自主公演を行うことができました。

当初は、「こんな短い期間で本当に上演できるのか」、「感染リスクを負いながら練習できるのか」など不安が多くあった中、皆のやり切りたいという思いが強く、3年生にとって最後の公演を終えることができました。

私が3年間演劇部を続けてくることができたのは、仲間たちのおかげでした。演劇部での日々は辛いことも多く、答えがいくつも存在するため、意見の食い違いなどで心が折れかけ何度も退部を考えましたが、公演を終えるごとの達成感や一緒に作り上げたことで仲間との絆が深まり、演劇部は私にとってかけがえのないものになりました。

長いようであつという間だった演劇部生活。この部活でこ

の仲間たちと演劇ができて本当に良かった。演劇部に感謝!!



サッカー部

感謝の気持ちを忘れずに

305 丹生 貫太（尾張旭市立東中学校出身）

私たちサッカー部は、全国大会出場を目指し活動しています。その目標を達成するための大会の1つ、インターハイが新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。残すは10月から始まる選手権大会しかなく、その目標に向かってチーム一丸となって活動していました。しかし世の中の状況が悪化し、休校になり、休日も一切サッカーができなくなってしまいました。当たり前のように部活をしていた日々がなくなり、自分自身モチベーションを保つことが難しかったです。自粛中は家でできるトレーニングを行ったり、1人でボールを蹴ることしかできず、このまま何も目標を達成できずに終わってしまうのではないかと不安な毎日を過ごしました。休校が明けて部活が再開され、サッカーがで

きるありがたみを感じながら今までよりも1日1日の練習を大切にしようという気持ちが強くなりました。最後の選手権大会は、監督、コーチ、保護者など全ての人に感謝し、全力でプレイし、悔いが残らないようにしていきたいです。



Club&Award News

生徒の活躍（～2020年9月15日まで）

■乗馬部

2020愛知馬術大会

障害60	第1位	廣田 有咲（208）	名古屋市立長良中学校出身
	第2位	古橋 信平（301）	名古屋市立日比津中学校出身
	第3位	梅村 凌矢（308）	名古屋市立一柳中学校出身
障害50	第1位	古橋 信平（301）	名古屋市立日比津中学校出身
障害60	第1位	廣田 有咲（208）	名古屋市立長良中学校出身
	第2位	西 悠太（207）	北名古屋市立師勝中学校出身
	第3位	西 悠太（207）	北名古屋市立師勝中学校出身

■女子蹴球部

令和2年度愛知県高等学校女子サッカー大会 第3位

■陸上競技部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会 陸上競技大会 名古屋南北予選会

男子走高跳	第3位	寺田 友哉（201）	名古屋市立供米田中学校出身
		→県大会出場	
	第5位	奥村 渡（203）	名古屋市立長良中学校出身
		→県大会出場	
女子棒高跳	優勝	都築 凜（105）	名古屋市立守山中学校出身
		→県大会出場	
女子ハンマー投	第2位	和久利 明希（101）	名古屋市立御田中学校出身
男子ハンマー投	第5位	伊藤 真矢斗（114）	蟹江市立蟹江中学校出身

2020年度 秋の「助成金拡充請願」活動について

今年度も、『オータムフェスティバル（県民文化大祭典）』を県下36会場で開催しております。それぞれの会場で県議員さんにご登壇いただき、愛知県や市町村の「助成金拡充請願」についてもご理解をいただいております。本校では、担当会場となっている11会場を中心に、生徒、保護者、卒業生とその保護者、本校教職員、また他私学関係者や市民とともに、準備・運営を進めております。

45年間にわたって続いてきたこの運動が身を結び、今年度は、国の就学支援金の制度が大幅に見直され、県の助成金制度が大きく前進いたしました。今年の運動は、コロナ禍による財政不振にあっても、せっかくできた2020年度の素晴らしい制度を守り、次の世代につないでいくことを目指した運動となっています。また、コロナによって子どもたちが奪われてしまったさまざまな活動の場を新たに創り、つながりの中で成長を実感できる機会にしたいと考えています。

最後になりましたが、オータムフェス運営協力券の普及、これまでの会場へのご参加・運営など、多くの力添えをいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

同朋学園 助成金推進協議会 小堀 能任

職業教育技術顕彰を受領しました

愛知県には職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来にわたり豊かな職業生活を営むことを目的とした技術顕彰制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、高度な資格を複数取得した商業科3年生に対し、愛知県知事より「職業教育技術顕彰」が授与されました。

顕彰が授与されたことに自信を持ち、これからも学びに真摯に取り組んでもらいたいものです。

商業科主任 伊吹 酬平



愛知県職業教育技術顕彰受領者一覧

青木 智寛	水野 皓太	名木 静玖	鷲尾 美沙	松永 陽斗	佐藤 心音
奥田 智也	吉原 章徳	濱田 郁美	阿部 央輝	森 勇斗	鈴村 日菜
近藤 大和	青木 恵美	林 結子	磯井 大樹	藤野 拓斗	丹下 まい
佐藤 太紀	石田 明音	林 律利佳	喜多 陽大	浅野 萌香	長橋 梨花
庄山 健秀	江場 さやか	廣瀬 若菜	後藤 公綺	磯村 莉奈	長屋 可奈美
杉江 弘基	落合 菜々子	福地 萌々華	小林 幹太	伊藤 美南	坂野 碧衣
鈴木 啓人	加藤 七瀬	藤井 姫良里	津本 柊	岩田 彩芽	日比野 美月
竹田 真斗	金山 三奈	溝口 里沙	中谷 祥一	柿原 亜里南	廣瀬 咲香
中野 幹也	川村 怜	村松 琴音	西 大和	川口 夏実	堀田 紗羅
平光 晴稀	長橋 美咲	山先 華加	羽淵 泰造	川崎 江梨奈	前田 姫奈多
松尾 一冴	中山 悠依	吉田 礼子	前田 准	木澤 恵	毛利 水優
以上 66名					



アンサンブル演奏会

2回も舞台に立った日

311 安藤 舞那 (名古屋市立御田中学校出身)

今回のアンサンブル演奏会はとにかく時間がない中での発表でした。元々、自分の専攻の打楽器で2年生の子たちと4人組で出る予定でしたが、今回は管楽器の曲の中に打楽器パートがあるということで2演目に出演することになりました。

本当に時間がなく、授業は週に1時間でしたので、その中で2演目行うということに追い詰められた中での練習でした。体育祭後は、練習期間が3日間しかなく、自分たちで時間を見つけて必死に練習をしました。

本番当日のリハーサルでは、2曲ともうまくいかず、もう無理だ、と心が折れそうになりましたが、そのときに「最後の最後まで音を合わせておこう」とみんなが言ったことが心に残っています。管楽器の控室では、本番直前まで何度も何度も合わせ、練習をしました。セッティングの都合で、自分の叩く楽器はその場になく、一緒に合わせることはできませんでしたが、一

人で音の確認をしました。

迎えた本番、はじめは緊張をしていましたが、舞台に立つとアンサンブル演奏会ならではの「一人じゃない、みんながいる」という気持ちが出てきて、あまり緊張はしなくなりました。落ち着いて演奏することができ、なんとか無事に2曲とも最後まで通すことができて、とてもほっとしました。今までで最も準備の時間がなく、忙しいアンサンブル演奏会でしたが、成功できて本当に良かったなと思っています。



信頼関係が結果を出す1番の秘訣

311 山田 みのり (名古屋市立名塚中学校出身)

文化祭と体育大会という大きな学校行事を終えても、私たち音楽科は休む間もなく4日後にアンサンブル演奏会がありました。いつもはたくさん授業外でもやっていた自主練習も、新型コロナウイルスの影響や文化祭の準備に追われ、中々できませんでした。

私たちミュージカルコースは、電子オルガン専攻の仲間とQueenのDon't stop me nowを演じました。今回、私が改めて重要だなと感じたのは、周りをよく見て呼吸を合わせ、臨機応変に対応することです。

本番当日は、色々なハプニングがあり、一人ひとりの踊りのフィーリングやニュアンスが異なっているために演技の振り付けが同じでも揃っているようにみえませんでした。しかし本番直前までに練習を重ね、なんとか無事に終える

ことができました。

今年は特に、私たち音楽科1・2・3年生の仲が良く、お互いに信頼し合っていたので演技が揃えやすく、楽しくできました。

人と合わせるのも一緒に何かをするのも相手との信頼関係が結果を出す1番の秘訣なのではないかと思います。

